

国分寺学 授業実践モデル 第3学年

1 単元名

「国分寺SDGs ～私の提案と実践～」(全12時間扱い)

2 単元の目標

- ・国分寺市総合ビジョン(国分寺市ビジョン後期実行計画)について理解を深め、自分事として捉え、一市民として自分たちができることを考え、実践する態度を育てる。

3 本単元で育成を目指す資質・能力

【課】課題解決力	【コ】コミュニケーション力 協働力	【社】社会参画力
・自分たちの市をもっと良くするために具体的なアイデアを考え提案・実践する。	・グループで課題の解決に向け他者の考えを尊重しながら話し合い、協力して課題解決に取り組む。	・国分寺市ビジョンの施策に関心を持ち、よりよい街にするために自分達の視点で考える。

4 単元の指導計画と評価計画(全〇時間)

時	学習 過程	◆目標 ○学習内容	単元で育成を目指す 資質・能力			地域資源 との関連
			【課】	【コ】	【社】	
1 ～ 2	課題 設定	＊国分寺市ビジョンの36施策とSDGsの関係性について理解を深め、より良い街づくりに自分達が貢献できる施策を考える。	○			
3 ～ 5	情報 収集	＊施策に対する現状や課題について、実際に現場に行き、現状を調査する。 ＊施策に対する市民の意識をインタビューやアンケートによって情報を収集する。 ＊実際に自分が実践したことを記録にする。 ＊自分たちの考えた提案を実践してみたり、考えたことを他者に投げかけ意見を収集する。	○		○	① ② ③
6 ～ 8	整理 ・ 分析	＊実際に収集してきた施策に対する現状や課題についてまとめる。 ＊そこから見えてきた新たな課題や提案(提案の修正)などについて考え、まとめる。 ＊グループで話し合い、プレゼンテーション資料を作成する。	○	○		

9 ～ 12	発信・実行	<ul style="list-style-type: none"> *今まで調べてきたことを基にして、現状、課題、自分なりの分析、提案等をスライドを作りまとめる。 *グループごとに国分寺市ビジョンの施策に対する私たちの提案として市に提言するという形で発表する。 		○	○	④
その他（教科等横断的な取組，関連単元や教科 等）						

5 本時（全12時間中の第8時）

（1）本時の目標

- ・課題についてまとめてきた内容を、わかりやすく説明することができる。
- ・互いに良い点や修正点などのアドバイスを送り合い、発表内容を改善することができる。

（2）本時の展開

	時間	○学習内容 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点 配慮事項	評価規準 【】関連する資質・能力
導入	5分	○本時の流れを確認する。	・班からスライドの説明を受ける際に注目すべきポイントをクラス全体で確認する。	
展開	30分	○発表者がタブレット端末を用いて、制作したスライドを班員に見せながら発表する。 ○聞き手は、発表内容について良い点と改善点についてまとめ伝える。	・ワークシートに良い点や修正点などのアドバイスのメモをとり、最後に伝えるように指示する。	☆課題についてまとめたことをわかりやすく発表できている。【課】 ☆班員同士が互いにアドバイスを送り合い、協力して課題解決に取り組むめている。【コ】
まとめ	15分	○自身の発表を振り返り、スライドや発表原稿を改善する。 ○次回の予定「今まで調べてきたことを基にして、現状、課題、自分なりの分析、提案等を、スライドを作りでまとめる。」ことについて伝える。	・机間指導の中で、改善点について声掛けしていく。	

6 地域にある様々な資源と活用することで期待される効果
 (人材, 協力者, 公共機関, 民間企業, 施設, 団体 等)

番号	人材, 協力者, 公共機関, 民間企業, 施設, 団体 等	活用することで期待される効果
①	* 施策に関する施設や現場での見学、体験、実地調査	施策に関する施設や現場に実際に足を運び、実際に見たり、聞いたり、体験したりすることで市の施策に対する理解を深めることができる。
②	* 市の担当者への取材	施策の課題や現状、市の担当者の思いなどを知ることによって市の施策に対する問題意識を高めることができる。
③	* 保護者や地域の方へのインタビューやアンケート	* 施策に対する市民の課題意識等を把握することができ、施策に対する課題点を知る一助とすることができる
④	* 市関係者	市に提言することで、発表内容により責任をもつことができ、一市民として街づくりに貢献するという意識が高まる。